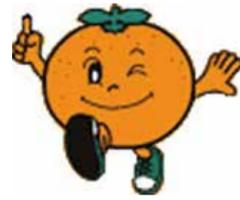


みかんづくりの1年



みかんの生育 みかんは四季に沿って成長します



農作業 生育(季節)にあわせた作業

剪定 2月、3月

木の内部に日光が当たるように余分な枝を切ります



施肥 3月、10月

肥料をまいて木と果実を育てます

防除 5月～11月

スプリンクラーや手散布でみかんを病気や害虫から守るため農薬を散布します



摘果 7月～9月

小さい果実やキズの付いた果実を夏場にもぎとります

収穫 11月、12月

色づいた果実から一つずつ手で摘みとります



出荷 11月、12月

果実の大きさや味ごとに箱詰して市場へ出荷します

作業のほとんどが手作業 特に収穫期は人の手が必要

経営していくためには資本装備が必要

農地

- 高齢農家等のリタイアや規模縮小により、貸したい・売りたい農地は増加
- 農地は貸借か売買により権利取得
- 農地の賃借料や購入費用は、農地の出し手と協議し決定



モノラック



スプリンクラーノズル



樹園地



倉庫

- 農家の倉庫は自宅に隣接しているか、みかん山にあるのが一般的
- 倉庫には車両や農機具を保管
- 収穫時期には、選別や収穫した果実の保管・貯蔵にも使用



農業用倉庫

車両

- 運搬用に、軽トラックや2tトラックが必要
- 自宅からみかん山への交通手段としても使用
- 原付があると便利

原動機付自転車



2tトラック



軽トラック



農機具

- 荷物運搬用機械(モノラック、クローラー)
- 家庭用選果機・巻き上げ機、コンテナ
- 防除用の動力噴霧器、ホース、ノズル、タンク
- 草刈機、チェーンソー
- 収穫鋏、収穫カゴ・袋、剪定鋏・鋸、脚立



クローラー



家庭用選果機



動力噴霧器



タンク



収穫カゴ



剪定鋏



巻き上げ機



収穫鋏



剪定鋏



チェーンソー



草刈機



脚立

初期投資は結構かかる ある程度の資金が必要 最初は中古で十分

みかん農家になる夢 応援します



八西地域農業振興協議会
西宇和みかん支援隊

愛媛県八幡浜市江戸岡1-12-10 JAにしうわ内

TEL 0894-24-1116

<http://n-mikan-shientai.jp>

あなたにぴったりのみかん産地があります

西宇和の柑橘ラインアップ

柑橘名	販売量(t)	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
温州みかん	34,678	■									
はれひめ	36		■								
紅まどな	225		■								
ぼんかん	926				■						
宮内伊予柑	3,340					■					
甘平	533					■					
せとか	640					■					
デコボン	4,184					■					
清見	3,679					■					
サンフルーツ	685					■					

(注)販売量は、平成30年度のJAにしろわ取扱量



えひめ西宇和ってどんなところ？

西宇和は、四国の南西部に位置し、日本随一の細長い佐田岬半島の全域とその付け根部分が含まれます。地形はリアス式で、沿岸部の平均気温は17.0℃と温暖ですが、柑橘栽培圏は0~350mと標高の高い地域にもあり、局地気象は多岐に渡ります。降水量は瀬戸内海気候に比べ1,600~1,700mmと県内では多い地域にあたります。

八幡浜市、伊方町、西予市三瓶町の2市1町にまたがるみかんを中心とした日本一の柑橘生産地域です。海岸沿いから山の頂上近くまで続く段々畑と眼下に広がる海が、心おだやかにそしてどこか懐かしく感じられる景観です。



あなたの就農を地域の支援チームがバックアップします
 ※支援チーム…集落・共選部会のリーダー、受入農家など

就農に向けたステップ

農業体験
 西宇和ってどんなところ？
 かんぎつ農業ってどうすればいいの？
 →まずは来てみませんか？
西宇和みかん体験・研修プラン
 3日~10日程度の短期滞在
 農家のもとで農作業と農家生活を体験
 宿泊・食事はホームステイや宿泊施設
 その時期に必要な作業を実施
 何度でも納得するまで来て下さい

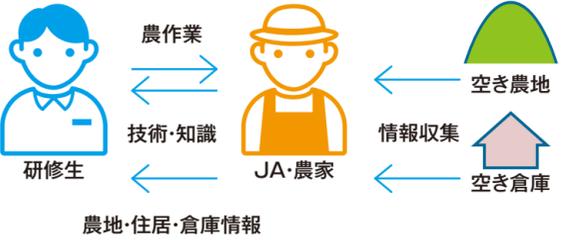
アルバイト
 11月~12月の収穫期はとにかく人手が必要です
 農繁期を体験するののも一つの方法
 宿泊はホームステイなど

研修
 どうやって栽培するかわからない
 いきなり就農して生計を成り立たせることは非常に困難
 JA・農家等で1年を通し作業を手伝い、技術・知識習得ができる仕組みを支援隊がバックアップ
 研修中に農地や倉庫の情報を収集

就農
 就農には覚悟が必要です
 しかも西宇和は果樹専作(永年性作物)で、品種転換は容易でなく、収入は年1回
 徐々に経営能力を身に付ければ収入UP!

支援策

- 農業体験受入
- 就農体験ツアーの実施
- 担い手支援チーム
 研修生は、就農を目指す地域の農家のもとで2年程度の技術研修を実施



- 農地の斡旋、倉庫、農機具等の取得
 地域での研修中に、担い手支援チームが、農地や倉庫等の情報を収集し、研修終了後スムーズに就農できるよう環境整備を行う等、バックアップします。

知らない人に農地は貸してくれません。
 研修に一生懸命取り組み、農家・地域との信頼関係を構築すれば、支援チームががんばって情報を集めてくれます。